



2月のできごと



第53回島内一周駅伝競走大会

第53回沖永良部島内一周駅伝競走大会が、2月4日に和泊町役場前を発着点として開催されました。今大会には18チームが参加。当日は小雨が降る天候でしたが、各チームは日頃からの練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられた結果、優勝は沖高サッカー部、2位は知名中学校、3位は消防署となりました。



沖永良部島のトレイルコースが開通

世界自然遺産奄美トレイル沖永良部島コースの開通式が、2月2日に和泊町のワンジョ公園でありました。開通式後には、参加者全員でワンジョ公園から半崎までの3kmのコースを歩きました。当日は天気も良く、コースの途中ではクジラが泳ぐ姿なども見られ、参加者はのんびり歩きながらトレイルを楽しんでいました。



「春のささやき」が全国へ

平成30年産沖永良部ばれいしょ「春のささやき」の出発式が、2月11日に町民体育館でありました。出発式の前には、新じゃがを使ったカレーライスや豚汁の試食、バレイショの詰め放題などが行われ、会場は多くの人で賑わいました。出発式ではテープカットのあと、参加者で初出荷のバレイショを積んだトラックを送り出しました。



ファンゲル塾が登録証を授与

日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」登録証伝達式が、2月4日に瀬利覚消防コミュニティセンターでありました。この登録証は、絶滅危惧種のトウギョ（タイワンキンギョ）の保全活動に取り組む瀬利覚字の「NP0ファンゲル塾」（朝戸武勝代表）に贈られたもので、鹿児島県で初となりました。



漂着油除去作業を行いました

沖泊海岸で確認されていた漂着油の除去作業が、2月17日に同海岸でありました。除去作業には、環境省や県、役場職員、地元住民ら約120名が参加。参加者は、県が作成した回収マニュアルをもとに2時間ほど作業を行い、砂や石などに付着した油や、油まみれの漂着物など約130kgを回収しました。



島から旅立つ高校生へ

沖永良部高校沖洲会ガイダンスが、2月15日に同校でありました。このガイダンスは、高校生が島を離れても、全国各地に住んでいる沖永良部島出身者の人たちと関わりをもってもらうことを目的に行われており、今回も講師に鹿児島沖洲会の松元重樹氏を招き、各沖洲会の活動などについて説明をしていただきました。